

会 議 記 録

会議名	第2回 芦別市総合庁舎整備に係る市民検討委員会
-----	----------------------------

日 時	令和元年12月23日(月) 午後6時00分から午後7時30分まで	場 所	市役所 3階第1会議室
-----	-------------------------------------	-----	----------------

第2回 検討委員会の内容について、次のとおり記録したものである。

会 議 の 概 要

1 開会

危機対策課長から星の降る里あしべつ応援大使の講演会案内。
総務部長による開会。

2 グループ討議

・危機対策課長

資料として添付している前回の会議録については、市議会に報告している。
今後もいただいた意見は市議会に報告することになっており、市議会として2月に市民への説明会を開催することになっていて、その際に庁舎についても報告するとのことである。

前回の会議時にスケジュールをお渡ししているが、市も来月末から2月頭にかけて市民説明会を予定しており、これまでの経過等を報告する予定である。なお、今回のグループ討議を始める前に、第1回の検討委員会の議題に関して意見を記入している方は提出願います。

〈提出された意見〉

①新庁舎に求めるもの

・商工会議所、銀行、図書館等の複合化、市民が1か所で行動がしやすいコンパクト化された庁舎

・数年先を考えると人口が7,000人位に減少すると予想されている。しかし、もっと下回る可能性があると思っている。将来、住民の負担にならないように簡素で実用的、住民が利用しやすく、利便性があり、十分な行政サービスが提供できる、そして住民に親しまれる新庁舎であってほしい。(複合型庁舎はとて素晴らしいと思います)

・芦別市の財産である木を用いた庁舎

・林業を生かすため木質バイオマスボイラーでの暖房設備

・新耐震基準に適合された建物であること、そして庁舎内のバリアフリー化、多目的トイレやエレベーターなどの設置は必要である

・建設に係る課題としては、人口減少問題(2045年推計)市立病院経営等の見直し、更には本市の財政問題等の見直し

・新たな庁舎には、他の公共施設(例えば図書館を組み入れてはどうか?滝川市のように)との複合庁舎もベターだと考えます

②建設場所 ※第2回の検討課題であるが、本来第1回で議論予定だったものである

- ・現市役所前の公園
- ・若葉プールと公園
- ・図書館を解体
- ・北大通
- ・市立芦別病院近くにと考えていたが、利便性や建設地などで無理なのではと思った。理想なのは、総合福祉センターに隣接する場所に新庁舎が建設されてほしいと思っている。
庁舎、福祉センターを利用する人たちが簡単に行き来できる通路ができたらもっと便利なのではと思う
- ・もとまち公園
- ・元芦別警察署跡地

ー 以下、グループ討議記録

討議内容として①建設場所②現庁舎の問題点③問題点から考える基本的な庁舎建設に係る方針とした。③については他市町の基本方針を例示した。

・総務部長

前回の委員会でも出たが、新しい庁舎・機能の前段として、今庁舎を新しくする必要があるのか、ないのかということも考えを持っていると思う。

前回も将来、人口が減っていく中で次の代、その次の代に負の遺産として借金を残していく、建設することによって、将来の住民サービスに支障が出ることはあってはならないというような意見があった。

そういった意見も遠慮なく出していただきたいと思う。今日話し合う建設場所や方針といった内容は、あくまでも整備するとすればここが良いであるとか、あるいは建設としているけれど、皆さんの中で現存の建物を使った方がいいとか、耐震化した方がいいというのであれば、これも入れてもらえればと思う。

建設場所をここに決める、機能をこうするというものにこだわった話ではないので、思っている意見を出してほしい。

※討議前に、賛成・反対でバラバラな意見が出たらまとまらないのではないかという意見が出たが、両極端な意見を出す必要はなく、建設の可否に対する意思表示が出ていないことを前提とした議論をした方が良いとして進めることとした。

また、12月議会(総務常任委員会)で意見がなかったことに対し、これだけの議論があるのだから、市議会も何らかのアクションがあってしかるべきだと思うという発言があった。

市議会としても市民説明会を実施するという事で、そこで市民の声を吸い上げたいという思いがあることから、第1回の委員会の結果に関して具体的な意見が出てこなかったのではないかと思う。ただ、将来の人口推計、職員数といったものに関する資料の提出を求められたことを説明した。

Aグループ

①建設場所

- ・現庁舎前公園→市民が来庁しやすい
- ・北大通→国道に面し、近くに道の駅もあるので多くの観光客等の人の目にも触れる。交通の流れもよく、機能の中心としていいのではないか
- ・若葉公園に建設し、小野寺医院の跡地を駐車場に
- ・福祉センターに隣接
- ・福祉センターの駐車場
- ・中心市街地の空き地など
- ・現庁舎より遠くならない場所→免許返納等もあるので、高齢者の負担にならない場所

②現庁舎の問題点

- ・バリアフリーになっていない
- ・エレベーターがない
- ・案内標示が分かりにくい
- ・通路が狭い
- ・駐車場が狭い
- ・入口のバリアフリー化になっていない
- ・フリースペースがない
- ・待合スペースが狭い

③問題点から考える基本的な庁舎建設に係る方針

例に示されている内容は当たり前であることを踏まえ、

- ・機能的にコンパクトな庁舎
- ・電気の確保ができて、防災時に市民が困惑しないシステムが必要
- ・観光スポットになる魅力ある庁舎
- ・点字案内
- ・盲導鈴（視覚障害者を安全に建物の入口等に誘導するための音声誘導装置）の設置

《その他意見》

- ・解体費用はいくらかかるのか
- ・本当に30億でできるのか
- ・土地代、建設費、解体等すべて入ったの30億なのか

Bグループ

①建設場所

- ・現庁舎に近い場所→福祉センターや駅、バス停、タクシー等々近くにあるので。駐車場に関しては、庁舎周辺を使用するのは来庁者とし、職員は若葉公園を使用するようにする。また、福祉センターに隣接して職員駐車場を現庁舎跡地にした場合に道路をまたいで行く形となることから、道々を市道にして廃止するなど考えられる
- ・旧警察署跡地

②現庁舎の問題点

- ・エレベーターがない
- ・変電施設やボイラーがすべて地下にある→何かあった時に庁舎が使用できなくなる
- ・市民の相談スペース→個人の会話が筒抜けになってしまうので、プライバシーに配慮した整備をする
- ・部署が分かりづらい→手続きが多い部署が一階にあるのはよいが、関連部局が階をまたがっている。関連部局はまとまっている方がよい
- ・階段とトイレが庁舎の中心に配置されているので防災面に問題
- ・書庫が狭く各課に書類が保存されているので、狭く感じるのではないかと。また、来庁者に書類が見えるような状態である。
- ・人口減少など現庁舎の建替えに関する財源の問題
- ・若い職員にも話を聞くべき→若手職員を中心に庁内検討委員会を設置していることを説明

③問題点から考える基本的な庁舎建設に係る方針

- ・市民のシンボルなので災害に強い庁舎
- ・市民に頼られる庁舎
- ・30億という金額があり、かつ予定する財源にも期限があるということだが、一定程度話を進めていくことがたいせつ

《その他意見》

- ・市町村役場機能緊急保全事業は令和3年3月で終了なのか。
その予定である。当初は期限までに建設終了しなければならなかったものが、実施設計の契約をしていけば良いことになった。その後、期限延長の情報がないことから他市町も動いている状況である。
芦別としても建設の判断は別として、検討をしていかなければ前に進めないということである。
- ・おそらく予定している金額で収まらないと思う。人件費や資材などで、35億となっているが5億ぐらい簡単に多くなる。
銀行の建設も当初の予定より十数億高くなってしまった。

(終了)